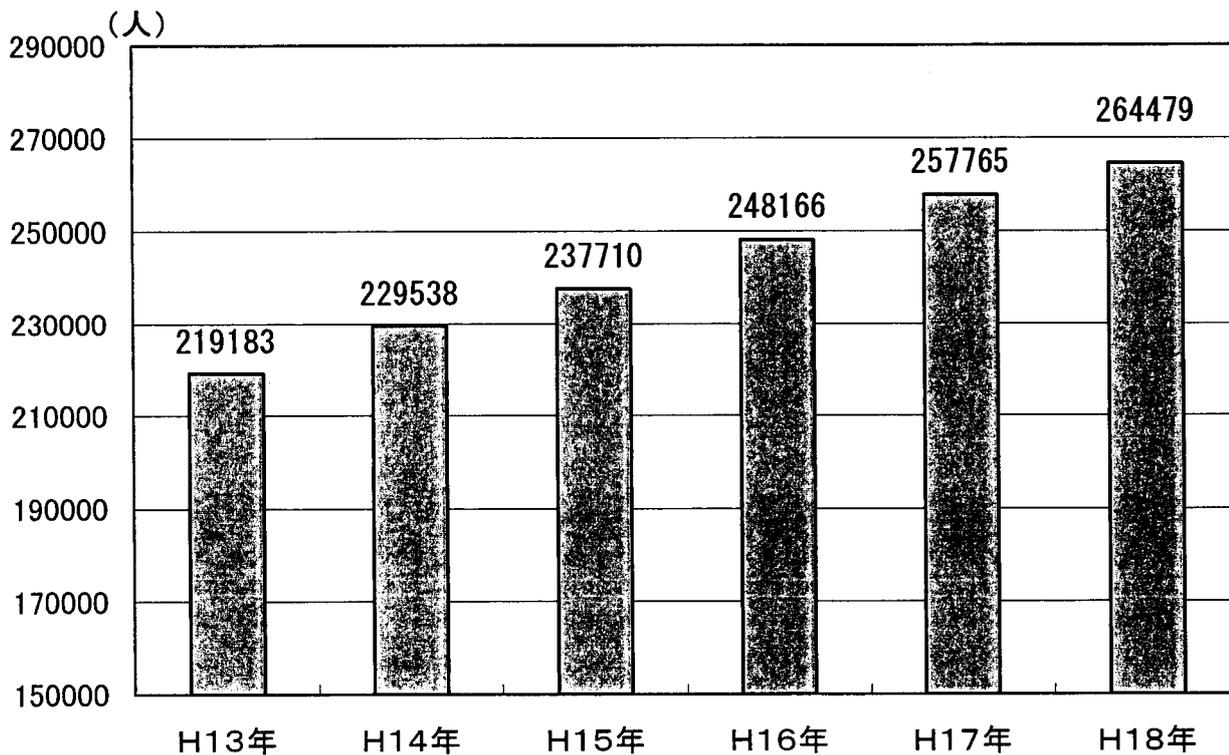


糖尿病対策について③

—人工腎臓について—

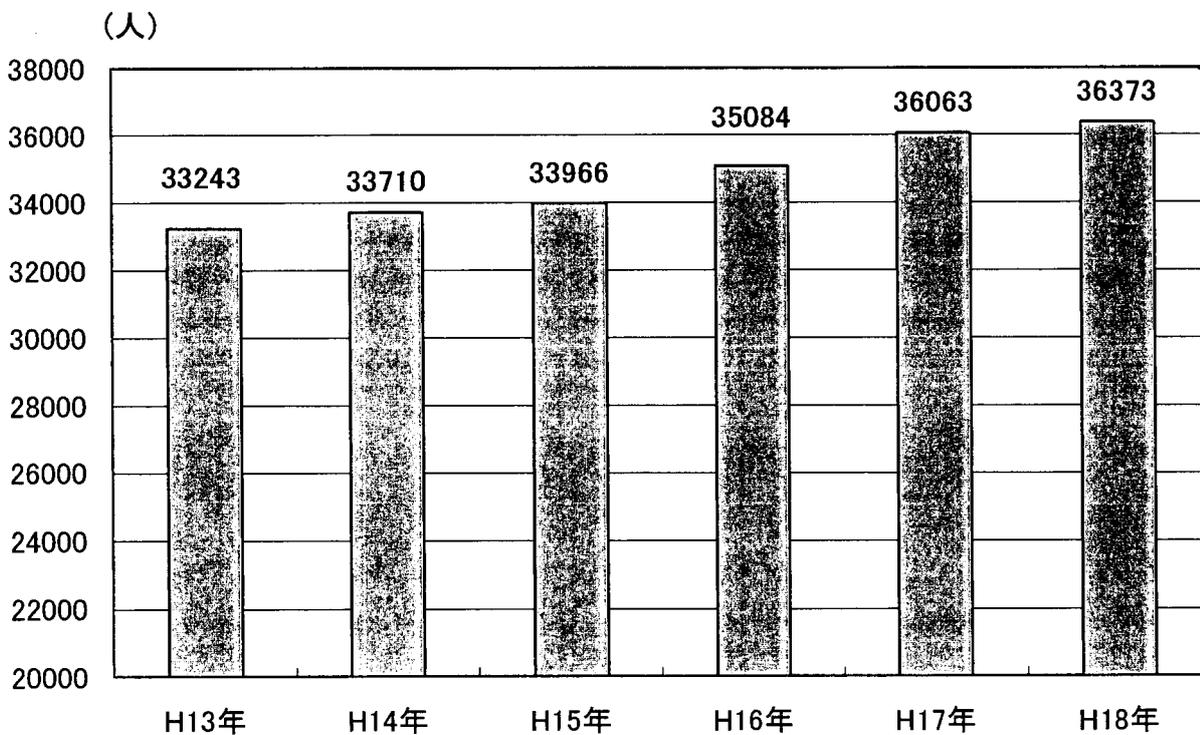
(参考資料)

(図表 1) 慢性透析患者数の推移



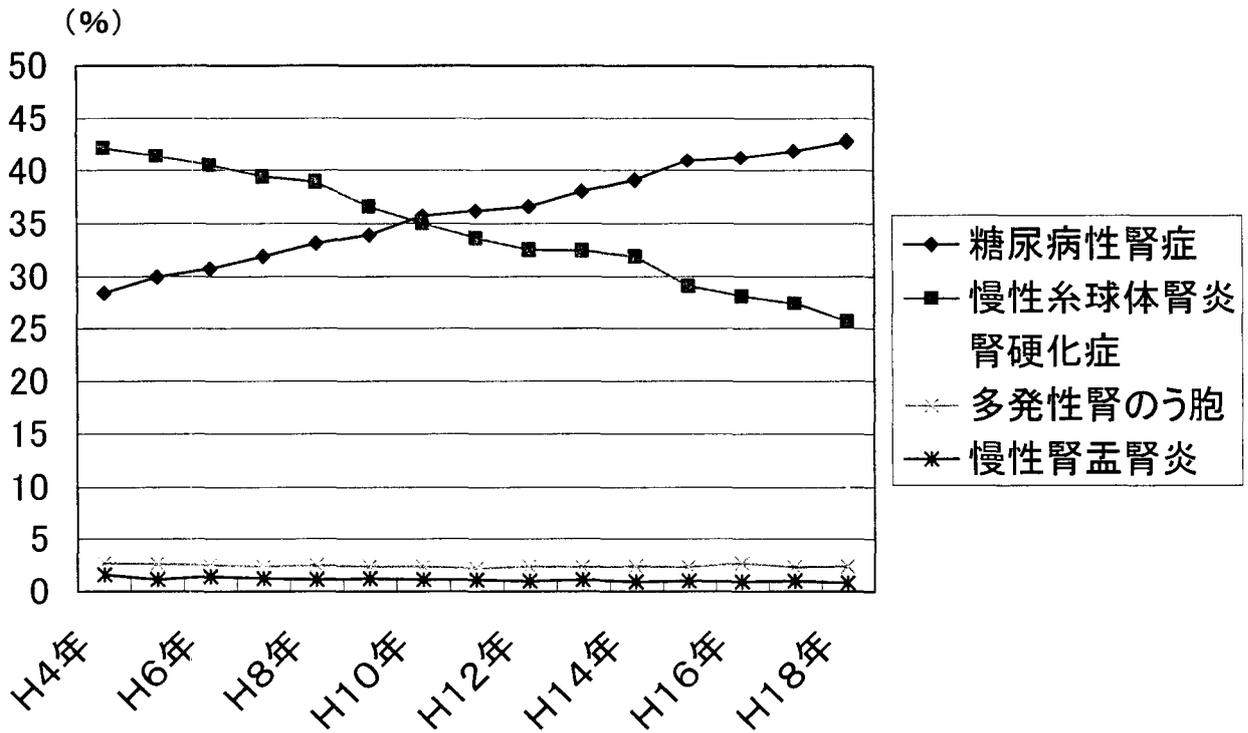
(出典) わが国の慢性透析療法の現況 2006年12月31日現在
日本透析医学会

(図表 2) 年別透析導入患者数



(出典) わが国の慢性透析療法の現況 2006年12月31日現在
日本透析医学会

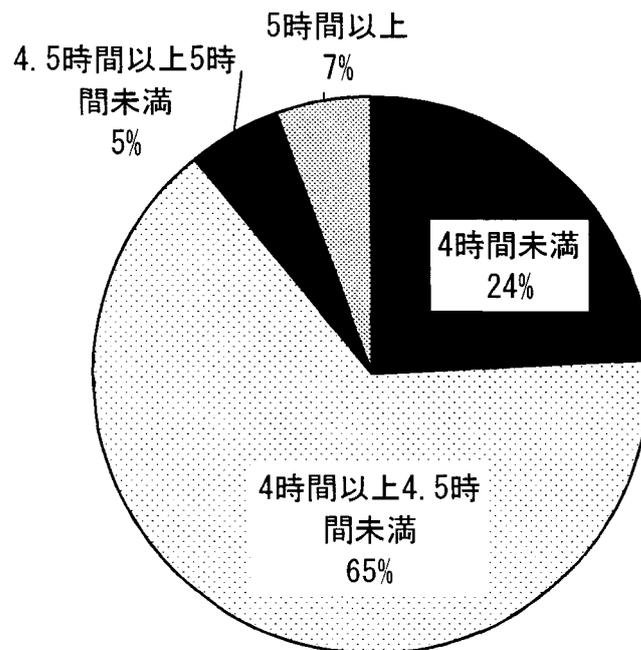
(図表3) 年別透析導入患者の主要原疾患の推移



(出典) わが国の慢性透析療法の現況 2006年12月31日現在

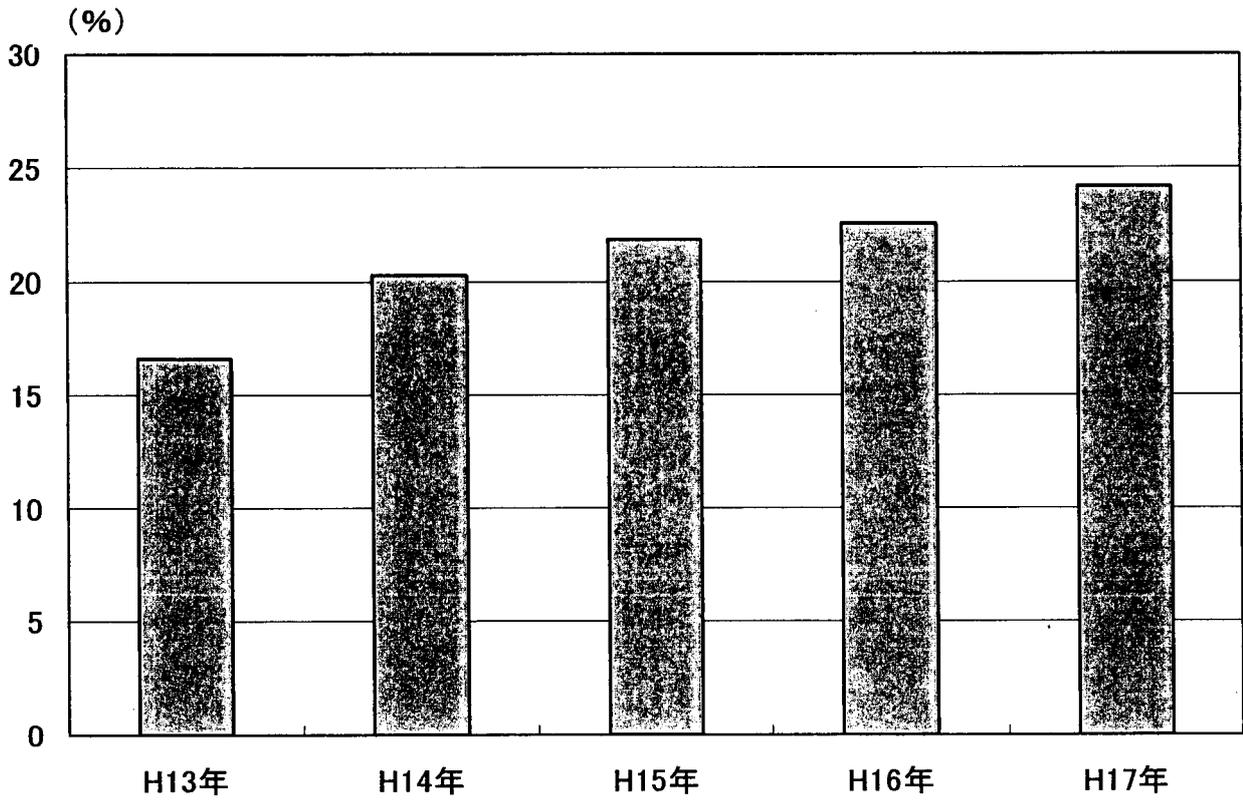
日本透析医学会

(図表4) 1回当たりの透析時間の分布 (週3回透析を行っている患者)



(出典) 日本透析医学会統計調査委員会調べ

(図表5) 短時間(4時間未満)で透析が行われる患者の割合



(出典)日本透析医学会調べ

診療報酬改定結果検証に係る特別調査（平成19年度調査）

透析医療に係る改定の影響調査 結果概要（速報）

1. 目的

- ・透析実施医療機関における診療実態等の把握
- ・エリスロポエチン使用量の変化と患者の貧血状況等の把握

2. 調査対象

- ・透析医療を実施している病院・一般診療所のうち無作為抽出した 2,000 施設（病院 1,000 施設、一般診療所 1,000 施設）。

3. 調査方法

- ・医療機関が記入する自記式調査票の郵送配布・回収。
- ・調査票は医療機関の診療状況等を尋ねる「様式1」と、調査日に外来透析を実施した患者を調査対象患者として、そのエリスロポエチン処方量と貧血状況等を尋ねる「様式2」の2種類の調査票を配布・回収した。
- ・調査時期は平成19年7月～8月。

4. 調査項目

- ・調査項目は次のとおり。

区 分	主な調査項目
施設属性	・医療機関種別、開設主体
応需体制 に関する内容	・外来透析の実施状況、夜間透析の実施状況、今後の意向 ・外来透析の診療体制 ・外来透析患者数の推移、外来夜間透析患者数の推移 ・外来夜間透析時の平均透析時間・準備時間等
エリスロポエチン使用 等に関する項目	・エリスロポエチン使用量の変化 ・患者の貧血状況等

5. 結果概要

(1) 回収の状況

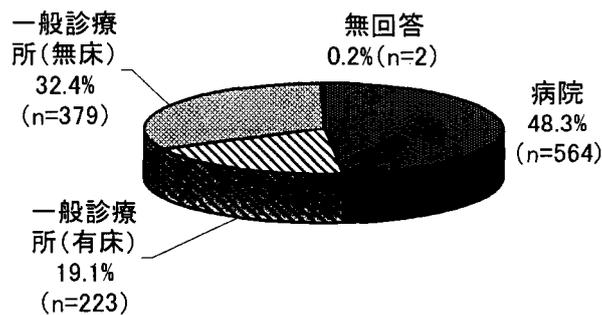
図表 1 回収の状況

	有効回収数	有効回収率
回答施設数	1,168	58.4%
様式2に記載された患者数	24,010	—

(2) 施設の状況

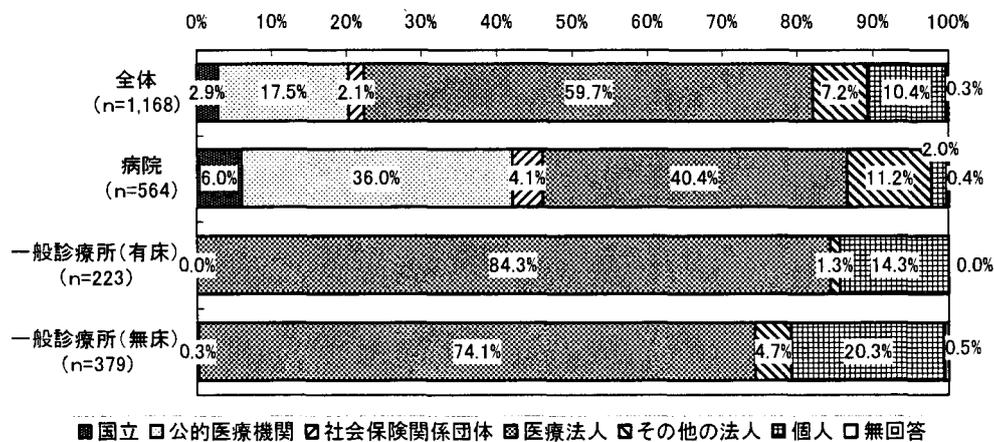
1) 医療機関種別

図表 2 医療機関種別 (n=1,168)



2) 開設主体

図表 3 医療機関種別



※参考：開設主体の内訳

国	厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他(国)
公的医療機関	都道府県、市町村、地方独立行政法人、日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会
社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
その他の法人	公益法人、社会福祉法人、医療生協、学校法人、会社、その他の法人

(3) 外来透析の実施状況

1) 外来透析の実施状況

図表 4 外来透析の実施状況

	施設数 (件)	構成割合 (%)
全体	1,168	100.0
毎日実施している	1,049	89.8
曜日を決めて実施している	71	6.1
現在は実施していない(廃止・休止した)	13	1.1
以前から実施していない	27	2.3
その他	4	0.3
無回答	4	0.3

外来透析実施施設は 1,120 施設 (95.9%)

2) 外来透析を毎日実施していない最大の理由 (外来透析を、「曜日を決めて実施している」「現在は実施していない」「以前から実施していない」施設 115 施設の回答)

図表 5 外来透析を毎日実施していない最大の理由

	総数	透析医がい ない	看護師が確 保できない	臨床工学技 士が確保で きない	採算が取れ ない	患者からの 要望がない	その他*	無回答
全体	115 100.0%	21 18.3%	9 7.8%	0 0.0%	6 5.2%	11 9.6%	64 55.7%	4 3.5%
曜日を決めて実施 している	71 100.0%	13 18.3%	8 11.3%	0 0.0%	6 8.5%	11 15.5%	31 43.7%	2 2.8%
現在は実施してい ない(廃止・休止した)	13 100.0%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 69.2%	1 7.7%
以前から実施してい ない	27 100.0%	5 18.5%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 74.1%	1 3.7%
その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%

*「その他」として、「外来機能を分離し、入院透析のみを実施」等があった。

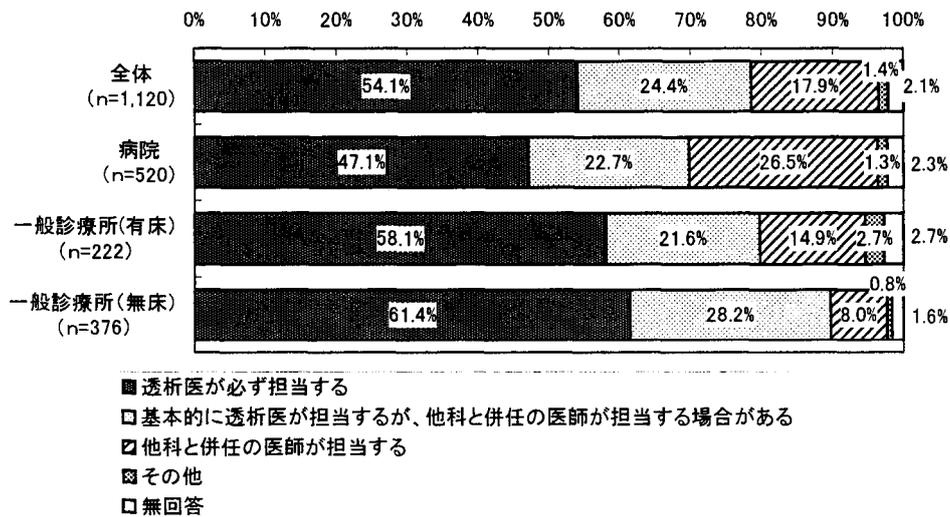
3) 外来透析に関する今後の意向

図表 6 外来透析に関する今後の意向（現在の外来透析の実施状況別）

	総数	現状のままで良いと考える	今後は毎日実施したいと考えている	今後は曜日を決めて実施したいと考えている	今後は廃止する予定である	その他	無回答
全体	1,168 100.0%	1,058 90.6%	17 1.5%	13 1.1%	6 0.5%	47 4.0%	19 1.6%
毎日実施している	1,049 89.8%	986 84.4%	0 0.0%	11 0.9%	5 0.4%	39 3.3%	8 0.7%
曜日を決めて実施している	71 6.1%	50 4.3%	16 1.4%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.2%	2 0.2%
現在は実施していない(廃止・休止した)	13 1.1%	9 0.8%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.2%
以前から実施していない	27 2.3%	16 1.4%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	4 0.3%	5 0.4%
その他	4 0.3%	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.1%
無回答	4 0.3%	3 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%

4) 外来透析を担当する医師

図表 7 外来透析を担当する医師



5) 外来透析の実施体制

図表 8 外来透析に携わるスタッフ数（実人数）と透析ベッド数（n=681）

		平成 17 年 6 月	平成 18 年 6 月	平成 19 年 6 月
1)常勤医師数(人)	平均値	1.95	1.98	2.02
	標準偏差	1.70	1.69	1.67
	中央値	1.00	1.00	1.00
2)(うち)透析専門医数 (人)	平均値	0.93	0.95	0.96
	標準偏差	1.02	1.07	1.05
	中央値	1.00	1.00	1.00
3)非常勤医師数(人)	平均値	2.30	2.49	2.55
	標準偏差	3.21	3.32	3.40
	中央値	1.00	1.00	1.00
4)常勤看護師数(人)	平均値	9.67	9.70	9.60
	標準偏差	7.89	7.68	7.51
	中央値	8.00	8.00	8.00
5)非常勤看護師数(人)	平均値	1.16	1.27	1.39
	標準偏差	1.85	1.90	2.10
	中央値	0.00	1.00	1.00
6)常勤臨床工学技士(人)	平均値	3.07	3.29	3.41
	標準偏差	3.31	3.53	3.38
	中央値	2.00	3.00	3.00
7)非常勤臨床工学技士 (人)	平均値	0.30	0.34	0.34
	標準偏差	0.95	1.02	0.97
	中央値	0.00	0.00	0.00
8)透析ベッド数(床)	平均値	29.2	30.2	30.8
	標準偏差	20.4	20.7	21.0
	中央値	25.0	26.0	27.0

6) 外来透析患者数の推移

図表 9 外来透析患者数の推移（n=940）

単位:人

		平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
平均値	4 月	67.1	69.4	72.0
	5 月	67.5	70.2	72.5
	6 月	67.7	70.3	72.8
標準偏差	4 月	60.4	59.6	61.2
	5 月	60.5	60.1	61.5
	6 月	60.5	60.3	61.8
中央値	4 月	53.0	56.0	59.0
	5 月	53.0	57.0	59.0
	6 月	53.0	57.0	60.0

(4) 外来夜間透析の実施状況

1) 外来夜間透析の実施状況

図表 10 外来夜間透析の実施状況（外来透析を実施している施設における状況）

	施設数 (件)	構成割合 (%)
外来透析実施施設全体	1,120	100.0
以前と変わらずに毎日行っている	125	11.2
以前と変わらずに曜日を決めて行っている	459	41.0
行っているが、最近、縮小した	36	3.2
以前は行っていたが、最近、廃止した	50	4.5
以前から行っていない	442	39.5
無回答	8	0.7

} 外来夜間透析
実施施設は 620
施設 (55.4%)

2) 外来夜間透析を縮小した施設の内訳

図表 11 外来夜間透析を縮小した時期 (n=36)

	施設数 (件)	構成割合 (%)
外来夜間透析縮小施設全体	36	100.0
平成 18 年 3 月以前	3	8.3
平成 18 年 4 月以降	17	47.2
無回答	16	44.4

図表 12 外来夜間透析を縮小した内容（複数回答、n=36）

	施設数 (件)	構成割合 (%)
外来夜間透析縮小施設全体	36	100.0
受入れ患者数の縮小	19	52.8
透析診療時間の短縮	6	16.7
診療曜日の削減	6	16.7
その他	5	13.9

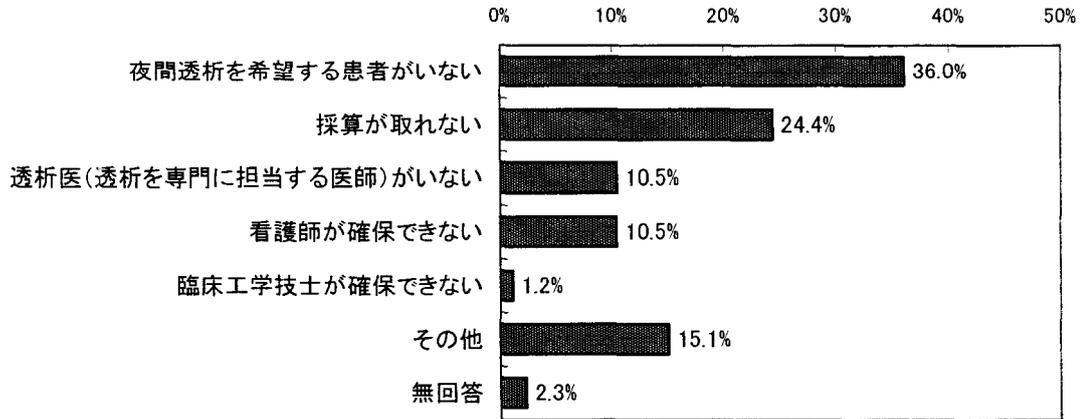
3) 外来夜間透析を最近、廃止した施設の内訳

図表 13 外来夜間透析を廃止した時期 (n=50)

	施設数 (件)	構成割合 (%)
外来夜間透析廃止施設全体	50	100.0
平成 18 年 3 月以前	32	64.0
平成 18 年 4 月以降	17	34.0
無回答	1	2.0

4) 外来夜間透析を縮小・廃止した最大の理由

図表 14 外来夜間透析を縮小・廃止した最大の理由 (n=86)



5) 外来夜間透析に関する今後の意向

図表 15 外来夜間透析に関する今後の意向 (現在の外来夜間透析の実施状況別)

	総数	現状のままでよいと考えている	今後は拡大し考えている	今後は縮小し考えている	今後は廃止する予定である	その他	無回答
全体	1,120 100.0%	811 72.4%	128 11.4%	72 6.4%	20 1.8%	61 5.4%	28 2.5%
以前と変わらずに毎日行っている	125 100.0%	86 68.8%	15 12.0%	17 13.6%	1 0.8%	6 4.8%	0 0.0%
以前と変わらずに曜日を決めて行っている	459 100.0%	301 65.6%	74 16.1%	49 10.7%	13 2.8%	21 4.6%	1 0.2%
行っているが、最近、縮小した	36 100.0%	19 52.8%	1 2.8%	6 16.7%	5 13.9%	4 11.1%	1 2.8%
以前は行っていたが、最近、廃止した	50 100.0%	30 60.0%	3 6.0%	0 0.0%	1 2.0%	6 12.0%	10 20.0%
以前から行っていない	442 100.0%	369 83.5%	35 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	24 5.4%	14 3.2%
無回答	8 100.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%

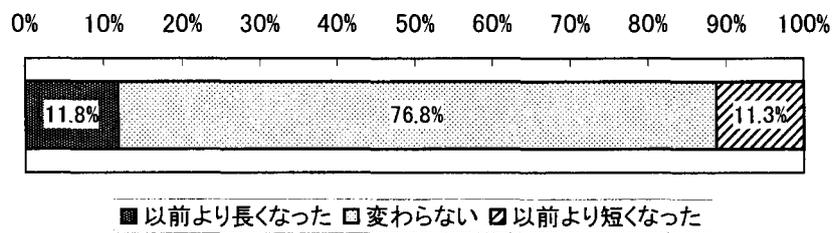
6) 外来夜間透析時の患者 1 人に要する時間

図表 16 外来夜間透析時の患者 1 人に要する時間 (n=574)

		平均値	標準偏差	中央値
平均透析時間	平成 18 年 1 月時点	246.7	23.3	240
	平成 19 年 6 月時点	246.6	24.3	240

図表 17 外来夜間透析時の患者 1 人に要する時間 (n=574)

(平成 18 年 1 月時点と比較して、平成 19 年 6 月時点に)



7) 外来夜間透析の患者数

図表 18 外来夜間透析の患者推移 (n=551)

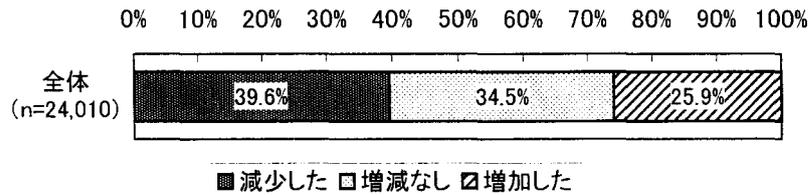
単位:人

		平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
平均値	4 月	24.4	23.9	24.4
	5 月	25.5	26.1	25.6
	6 月	23.4	23.8	23.4
標準偏差	4 月	38.0	35.7	37.2
	5 月	41.6	42.8	40.9
	6 月	37.2	37.4	36.0
中央値	4 月	13.0	13.0	13.0
	5 月	13.0	13.0	14.0
	6 月	13.0	13.0	14.0

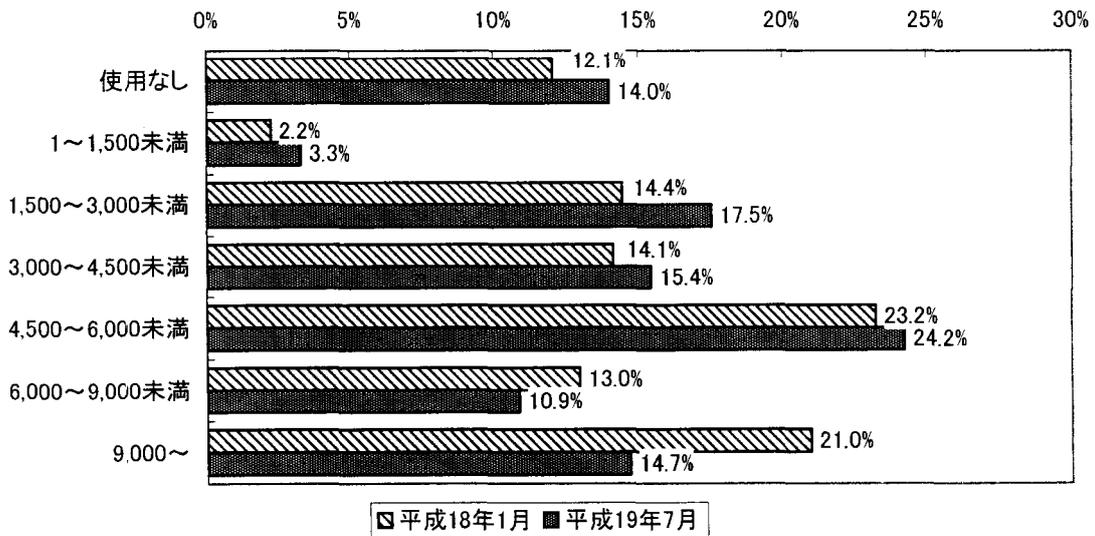
(5) エリスロポエチンの使用状況 (様式2の分析)

1) 1週間当たりのエリスロポエチン使用量の変化

図表 19 1週間当たりのエリスロポエチン処方量の変化
(平成18年1月時点と平成19年7月時点との比較)



図表 20 1週間当たりのエリスロポエチン使用量別 患者分布
(平成18年1月時点と平成19年7月時点との比較) (n=24,010)

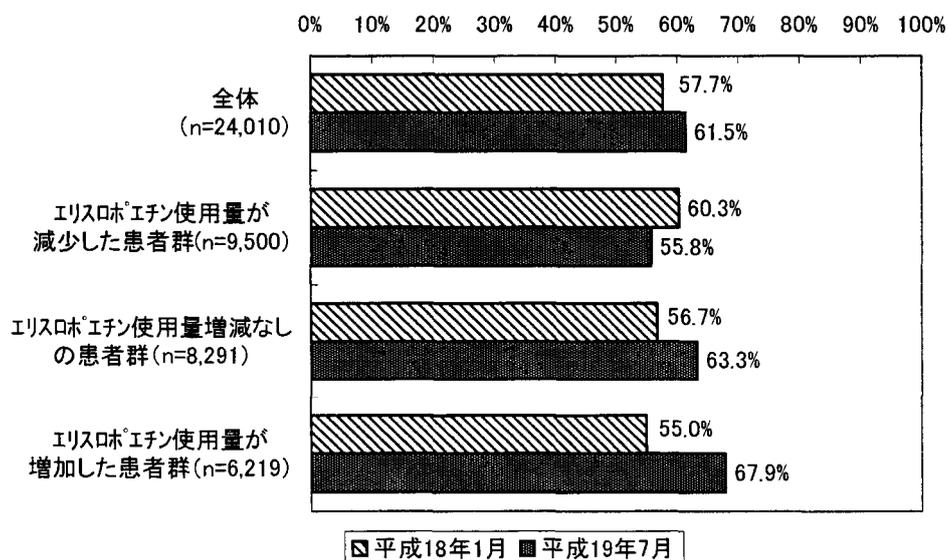


2) 患者の貧血状況等

図表 21 エリスロポエチン処方量とHb値・Ht値

	平成18年1月時点			平成19年7月時点		
	Hb値	Ht値	エリスロポエチン 処方量	Hb値	Ht値	エリスロポエチン 処方量
全体(n=24,010)						
平均値	10.2	31.8	4,469.3	10.1	31.5	3,930.2
標準偏差	1.2	3.8	2,973.0	1.2	3.6	2,823.1
中央値	10.2	31.8	4,500.0	10.1	31.5	3,750.0
エリスロポエチン製剤使用量減少患者(n=9,500)						
平均値	10.1	31.5	5,919.1	10.3	32.0	2,613.2
標準偏差	1.2	3.6	2,593.2	1.1	3.4	1,890.3
中央値	10.2	31.6	6,000.0	10.3	31.9	2,250.0
エリスロポエチン製剤使用量変化なしの患者(n=8,291)						
平均値	10.3	31.8	4,242.7	10.1	31.4	4,242.7
標準偏差	1.4	4.1	3,144.4	1.3	4.0	3,144.4
中央値	10.2	31.8	4,500.0	10.1	31.3	4,500.0
エリスロポエチン製剤使用量増加患者(n=6,219)						
平均値	10.4	32.0	2,556.9	9.9	30.9	5,525.2
標準偏差	1.1	3.4	1,933.1	1.1	3.3	2,609.3
中央値	10.3	32.0	2,250.0	10.0	31.0	4,500.0

図表 22 貧血患者の割合（平成18年1月時点と平成19年7月時点）



図表 23 患者 1 人あたりのエリスロポエチン平均使用量が減少した理由
(患者 1 人あたりのエリスロポエチン平均使用量が、平成 18 年 3 月以前と比較して
「減少した」と回答した施設 (n=423) に対する設問：複数回答)

